

町小学校教育課程特例校における特別の教育課程実施における成果の把握と検証結果の公表について

平成30年度より、小学校3校は教育課程特例校として、1年生から英語を週に1時間、学習しております。これは、早い段階から、子供たちが英語に慣れ親しむことで、意欲的に英語の学習に取り組むことを目指すためです。町では、ALTを各小中学校へ1名ずつ配置し、児童生徒が英語の授業を中心にして、多くの場面で、ネイティブな英語に親しむ機会をもつことができる環境づくりを行っております。

教育課程特例校の2年間の取組について、各小学校での成果と課題を把握し公表します。今後も英語学習の改善を図っていくとともに、教育課程特例校として、教育課程の充実をさせていきたいと考えております。詳細については、各小学校のホームページをご覧ください。

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからのグローバル化に向けて、国際社会で使用されている英語に早期に慣れ親しむため、小学校1学年及び2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

利根町は、「一人一人が輝く 利根町の教育を目指そう」～学校・家庭・地域が協力して子供たちを育てよう～の基本テーマのもと、「グローバル社会で活躍できる人材の育成」を具体的な重点施策の1つとして取り組んでいる。英語は、国際共通語として多くの国や地域で使われており、情報化・グローバル化が急速に進む中、この時代の変化に対応できる人材の育成が必要であると考えている。

(3) 特例の適用開始日

2018（平成30年）年4月

2 各小学校の取組の成果と課題についての把握と検証結果の公表について

(1) 成果と課題の把握方法

- ① 自己評価として、児童・教職員のアンケート結果から、成果と課題を把握しています。
- ② 学校関係者による評価から、成果と課題を把握しています。

(2) 検証結果の公表について

- ① 児童・教職員のアンケート結果から見えてくる成果や課題を検証し、公表をします。
- ② 学校関係者による評価を通して、多面的に成果や課題を検証し、公表をします。

3 特別の教育課程を編成・実施している学校の自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価・学校関係者結果の公表
文 小 学 校	http://www.tone-school.jp/data/doc/1595295199_doc_10_0.pdf
文間小学校	http://www.tone-school.jp/data/doc/1595314090_doc_8_0.pdf
布川小学校	http://www.tone-school.jp/data/doc/1595390511_doc_6_0.pdf